

MITSUBISHI

三菱電機ユニットクーラ (UCH・UCL・UCR形)

据付工事説明書

UCH-VNE
UCL-VHE
UCR-ZVHE

もくじ

	ページ
1.安全のために必ず守ること	1
2.使用上のご注意	2
3.各部の名称	3
4.ご使用の前に	3
5.据付場所・据付方法について	4
6.電気配線	9
7.試運転時のご注意	11
8.お手入れのしかた	11
9.ようすがおかしいとき	12
10.保証条件・アフターサービス	13
11.仕様	14

ご使用の前に必ずこの「据付工事説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。万一ご使用中
にわからないことや不都合が生じたときお役に立ちます。
なお、受注仕様品につきましては製品の細部がこの説明書と若干
異なる場合があります。

1.安全のために必ず守ること

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
△注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

△警告

据付けは、工事説明書にしたがって確実にを行う。 ●据付けに不備があると、冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。	気密試験は確実にを行う。 ●冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
電気工事業者によるD種(第3種)接地工事を確実にを行う。 ●アースが不完全な場合は感電の原因になります。	据付けは、質量に十分耐える所に確実にを行う。 ●強度の不十分な所に据付けると、ユニットが転倒・落下により、ケガの原因になります。
配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子台接続部に接続電線の外力が、伝わらないように確実に固定する。 ●接続や固定に不備があると、発熱・火災の原因になります。	電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、工事説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。 ●電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。
水のかかるおそれのある場所には据付けない。 ●水がかかると、発火や感電の原因になることがあります。	ユニットの端子台カバー(パネル)を確実に取付ける。 ●端子台カバー(パネル)の取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。
安全装置の設定値変更はしない。 ●設定値を変えると、ユニットの破裂・発火の原因となります。	冷凍サイクル内に指定冷媒以外の冷媒や空気などを混入させない。 ●混入すると冷媒サイクルが異常高圧となり破裂・ケガの原因になります。
冷媒漏れ時の限界濃度対策は確実に。 ●屋内や冷蔵庫へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については、弊社代理店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	冷媒サービス時は換気を十分行う。 ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
	冷媒ガスのチェックは確実に。 ●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが機械室内や冷蔵庫内に漏れ火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

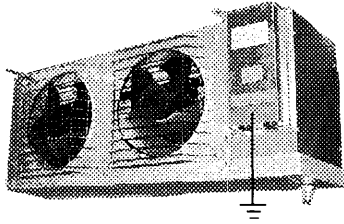
△注意

漏電遮断器を取付ける。 ●漏電遮断器が取付けられていないと、感電の原因になることがあります。	排水工事を確実にを行う。 ●除霜水などが屋内に浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。
仕様の範囲内で冷凍サイクルを製作する。 ●仕様を逸脱して冷凍サイクルを作ると、破裂・発煙・発火・漏電の原因になることがあります。	可燃性ガスの漏れる恐れがある場所に据付けない。 ●万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

2.使用上のご注意

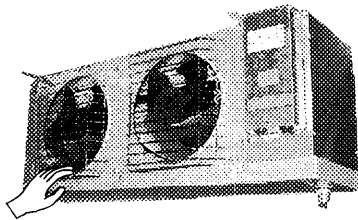
■設置状態を確認してください。

- 安全のため、アース端子から確実にアースが取付けられているか、確認してください。



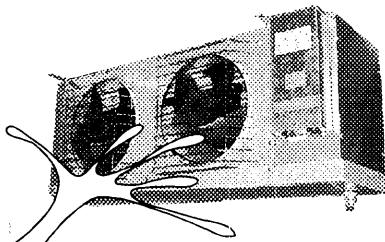
■ユニットのファン・ファンガードに直接手を触れないようにしてください。

- 特に除霜運転の後ユニットは、停止しているファンが突然回転することがありますので電源を切ってから点検してください。
- ユニットのドレンパン内部および、冷却器裏面には除霜ヒーターが取付けられています。除霜中はドレンパンに手を触れないでください。また焦げるおそれがありますので冷却器裏面には燃えやすい品物を近づけないでください。(UCL・UCR形のみ)



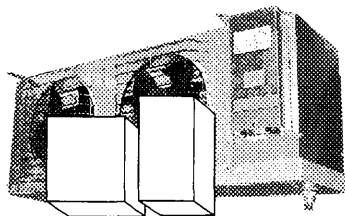
■ユニットに水をかけないでください。

- 漏電のおそれがあります。



■空気の循環をよくする。

- 冷却器ユニットの冷気吸込口や冷器吹出口の前に商品を置かないでください。



■腐食性雰囲気では使用しないでください。

- 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れてください。密閉されていない場合、冷却器が腐食し故障の原因となります。また、腐敗物がありますと、アンモニアなどの腐食性ガスが発生しますので、腐食物を放置しないでください。

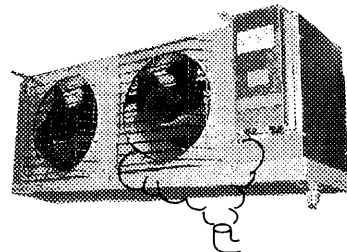
■危険物および化学薬品の貯蔵には使用しないでください。

- エーテル・ベンジンなど揮発性・引火性の薬品や爆発物を貯蔵しないでください。引火の危険があります。また、ラッカーペイント等の強燃性スプレーをユニットの付近で使用しないでください。
- デフロスト中に多少の温度の上昇がありますので、高精度な温度管理が要求される化学薬品等の貯蔵には使用しないでください。



■加湿器を冷気吸込口の近くに置かないでください。

- 加湿器を設ける場合は、加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。蒸気を直接吸い込むと送風機の故障の原因となります。また湿度は90%RH以下でご使用願います。



なお、加湿器を使用する場合は、霜付きが早くなりますので霜取りの間隔を見直してください。

■凍結の目的では使用しないでください。 (UCR形ユニットの場合)

- 冷凍用は凍結された商品を保存するため凍結の目的で使用しないでください。

■適正な庫内温度で使用してください。

- ユニットは使用庫内温度により3タイプに分かれています。使用温度に合わせて適切な機種をご使用ください。

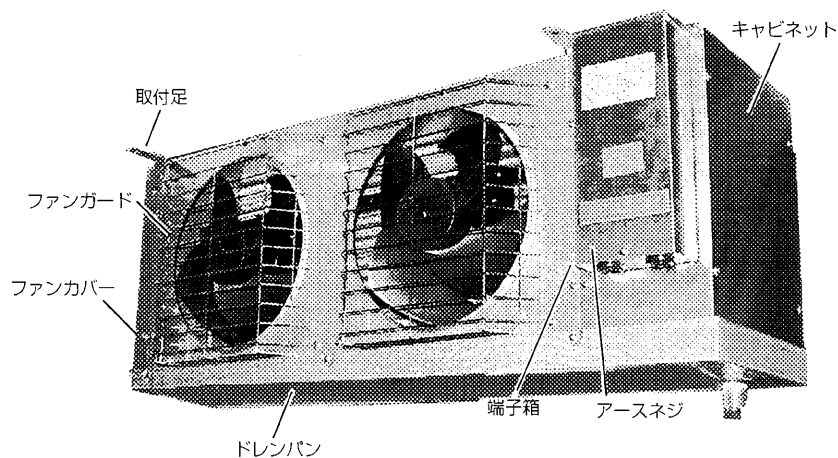
使用温度(庫内温度)

+3℃～15℃	UCH-VNE	オフサイクル除霜
-5℃～15℃	UCL-VHE	ヒーター除霜
-35℃～5℃	UCR-ZVHE	ヒーター除霜

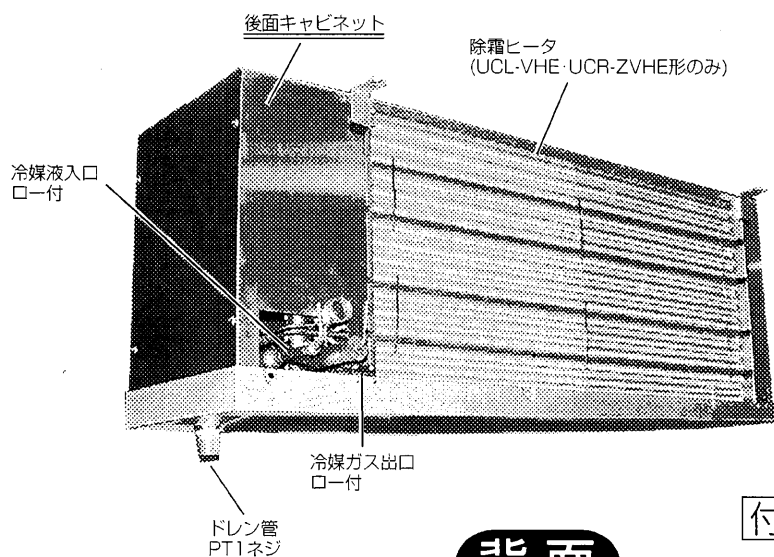
■冷蔵庫の扉を開けたままにしないでください。

- ユニットの着霜が多くなり、残霜・不冷となるおそれがあります。

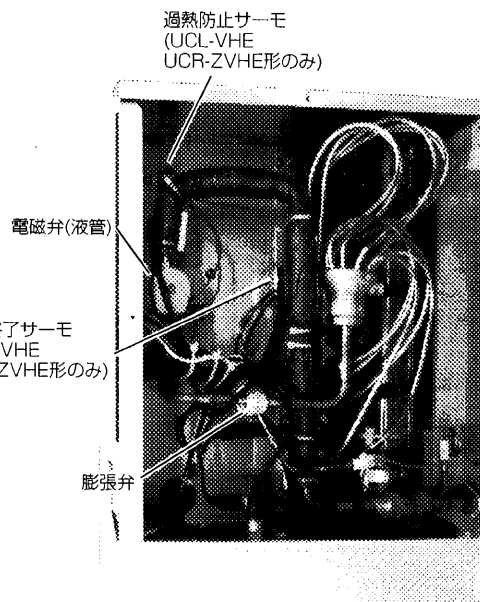
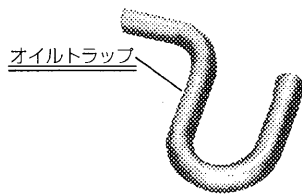
3.各部の名称



正面



背面



付属品

形名	オイルトラップ	ドレンホース	ドレンホースパイプ	ドレンホースヒューズ
UCH-VNE	1	1	2	—
UCL-VHE	1	1	2	—
UCR-ZVHE	1	1	2	1

※据付時オイルトラップ及び後面キャビネットを取り付け願います。

4.ご使用前に

■ファンの回転を確認してください。

輸送のための包装やテープをはずし、ファンが支障なく回転するか手で回わして確認してください。

■ユニット内のガスを確認してください。

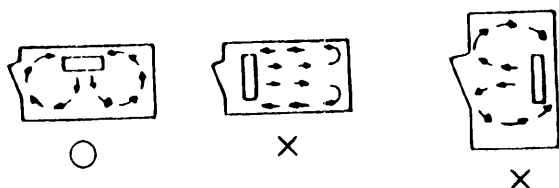
ユニットの冷媒入口、出口パイプには栓がありますので、これを取りはずし内部に充てんしてあるガスを抜いてください。出荷時にじゅうぶん検査を行なっていますが、もし、ガスが充てんしていない場合は、ガスリークが考えられますので、ガスリークテストを行ってください。

5. 据付場所・据付方法について

据付場所

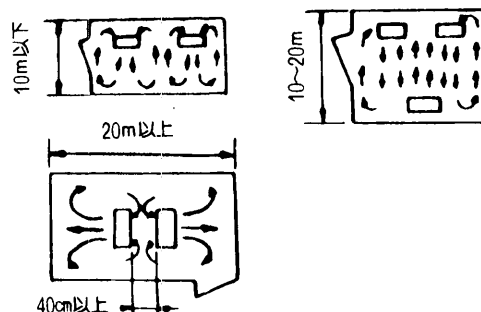
着霜が少ない場所への据付

ユニットクーラを冷蔵庫の扉の近くに設置すると扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸い込み、冷却器への着霜が増し、冷却能力低下や送風機ファンの氷結の原因になりますのでユニットクーラと扉の距離はできるだけ離すようにしてください。



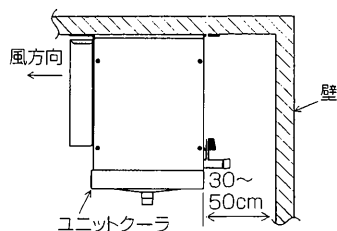
冷風が到達するような据付

冷蔵庫間口寸法が10m以下の場合には、ユニットクーラを片側方向に並べて取り付けてください。10mを超える場合には両側に向かい合わせて取り付けてください。

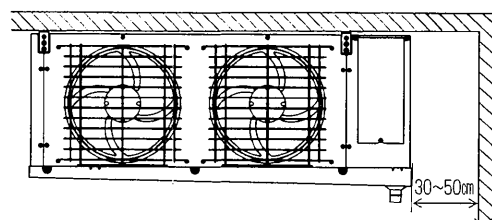


通風・サービススペースの確保

本体は冷却器裏面が壁面に向くよう取り付け、空気の循環、取付工事やサービス等を考えて裏面と壁面には30～50cmの間隔をあけてください。



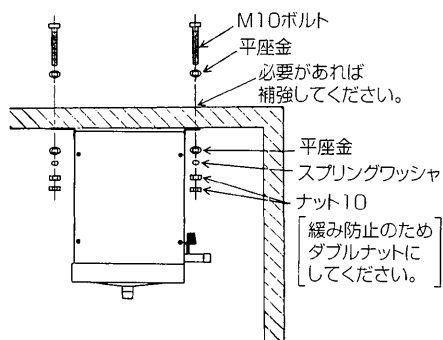
サービススペースとして下図のように間隔をあけてください。



据付方法

据付部の強度は十分に

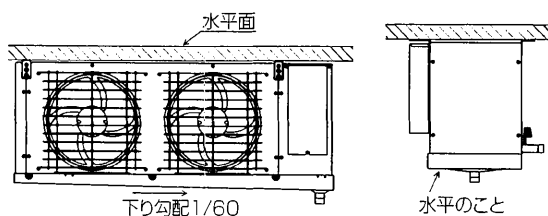
天井に取付穴φ12mmをあけM10ボルトを通して下側からナットでユニットクーラを固定してください。天井が弱い場合には、取付部に補強材を入れてください。



排水性の確認

排水を良くするため、普通に取付けるとドレンパンに傾斜が付くようになっていきます。天井が水平でない場合は1/60以上の勾配がとれるように取り付けてください。

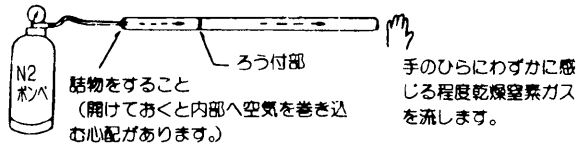
取付後、水を流して水はけを確認してください。またドレンパン前後の水平も確かめてください。



冷媒配管

ろう付け時の不活性ガス使用

ろう付け時には酸化スケールが発生しないように乾燥窒素ガスなどの不活性ガスを配管に通しながら行ってください。



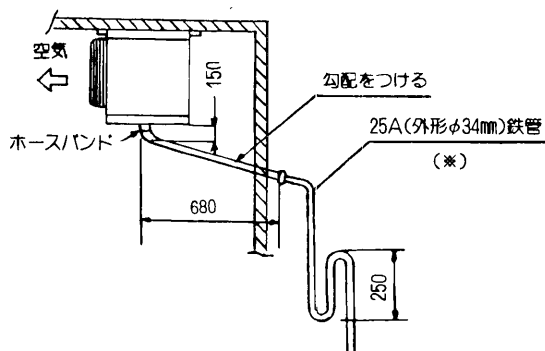
ロー付け時の注意

冷媒ガス出口をロー付けする時は、膨張弁の感温筒を冷却するか取外して（作業後は必ず取付願います）感温筒に熱が伝わらないようにしてロー付けしてください。
そのままの状態でもロー付けされると膨張弁のダイヤフラムが変形して故障の原因になります。

ドレン配管

ドレンホースの取付について

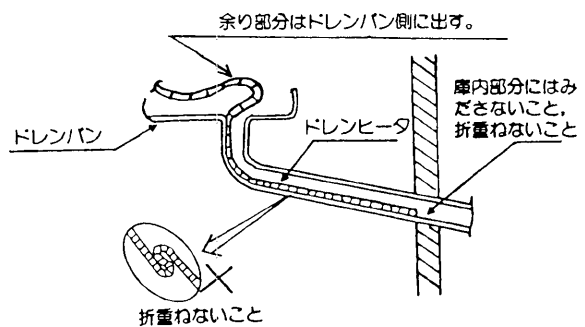
- (1) 付属のドレンホースをホースバンドで固定してください。
- (2) ドレンホースは必ず10°以上の下り勾配を設けてください。
- (3) ドレンホースは、庫外に導いた後Uトラップを設け、外気の侵入を防ぎます。
トラップの高さは250mm位にしてください。



※塩ビパイプを使用する場合は隙間が大きくなり水洩れの原因となりますので吸水性の無いパッキン等を巻きつけ、隙間を小さくしてください。

ドレンホースヒータの取付について

- (1) 付属のドレンホースにヒータを取付けます。（UCRタイプのみ）ヒータはドレンホースの庫内部分のみとし、庫外部分にははみださないよう注意してください。使用条件によっては断線するおそれがあります。
- (2) ドレンヒータは常時通電とし、シリコンベルトヒータを重ねないようホースに挿入してください。ヒータの余り部分はドレンパン側に出して取付けてください。折重ねて使用しますと、ヒータが断線するおそれがあります。



ドレン配管逆勝手のやり方 (UCH-VNE・UCL-VHE/UCR-ZVHE形のみ)

(1) 概要

この要領書はドレン排水口の取出位置を左右反対となる様に改造するための作業内容を記載いたします。

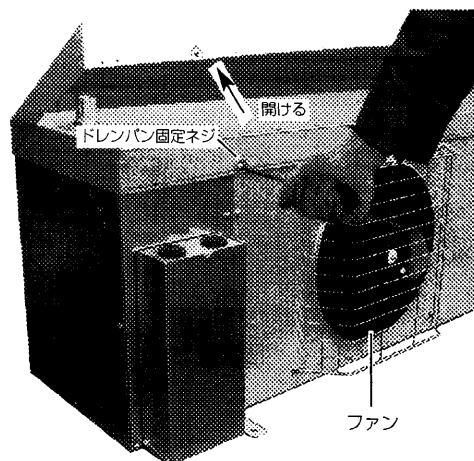
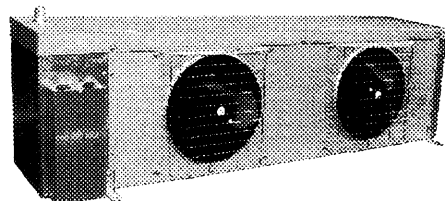
(2) ご注意

本作業を行われる場合は、フィンや板金のエッチ等で手を切る可能性がありますので必ず手袋（軍手等）を使用してください。

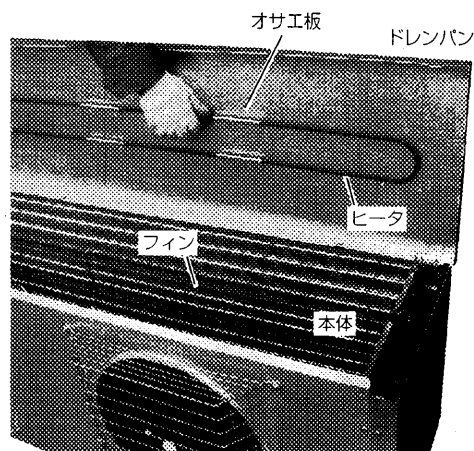
尚、ドレンパン除霜ヒータの配線は変更しません。
[本説明書は据付状態とは上下が入れかわっています。]

(3) 作業内容

① ドレンパンを固定しているネジ（ファン側）を取外し、ドレンパンを開けます。（3～6個）

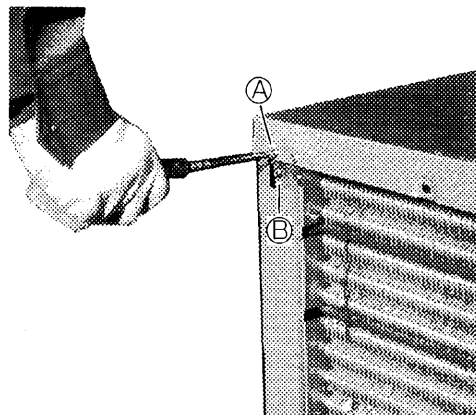


② ドレンパンを開けた状態でオサエ板からドレンパンに固定しているヒータを取外します。（UCH形は不用）[このとき、本体（熱交換器）のフィンをつぶさない様に注意してください。]

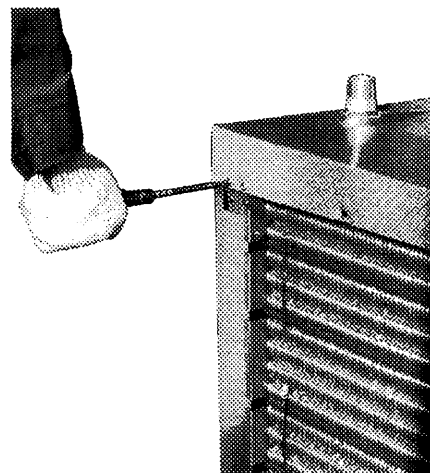


③ ドレンパンを固定しているネジ：Ⓐを取外してドレンパンを外します。

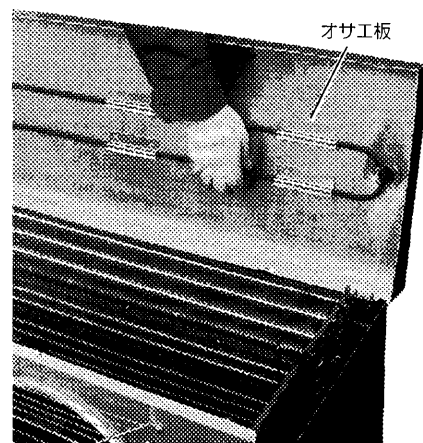
[このとき、右図に示しましたネジ：Ⓑは取外さないでください。]



- ④・ドレンパンを左右反対にします。
- ⑤ ドレンパンを本体（熱交換器）にネジ止めします。
③項の手順を参考に元通り取付けてください。



- ⑥ ドレンパンにヒータを配置し、オサエ板に固定します。
②項の手順を参考にヒータを取付けてください。
[・ヒータの取付位置に注意してください。]
[・ヒータにガタつきのないことを確認してください。]
取付具合が悪いとドレンパン凍結の原因になりますので
ご注意ください。



- ⑦ ドレンパンを閉めて、ファン側のネジを締めドレンパンを本体（熱交換器）に取付けます。
①項の手順を参考に元通り取付けてください。
- ⑧ 以上でドレン排水口の取出位置を左右反対とする改造が完了しましたので各部のネジが確実に締まっていることを確認してください。

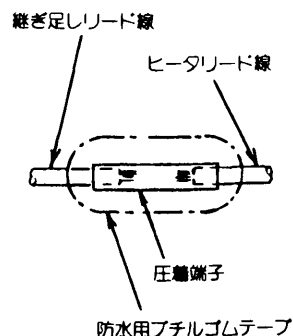
5. ドレンホースヒータ改造要領（UCRタイプのみ）

ドレン排水口の改造に関連してドレンホースヒータのリード線の長さが不足するため、以下記載の通り継ぎ線の改造を行い配線してください。

- ①ドレンホースヒータのリード線を継ぎ足します。
[接続部は下図を参考に防水処理を行ってください。]

延長リード線（現地手配） 選択目安

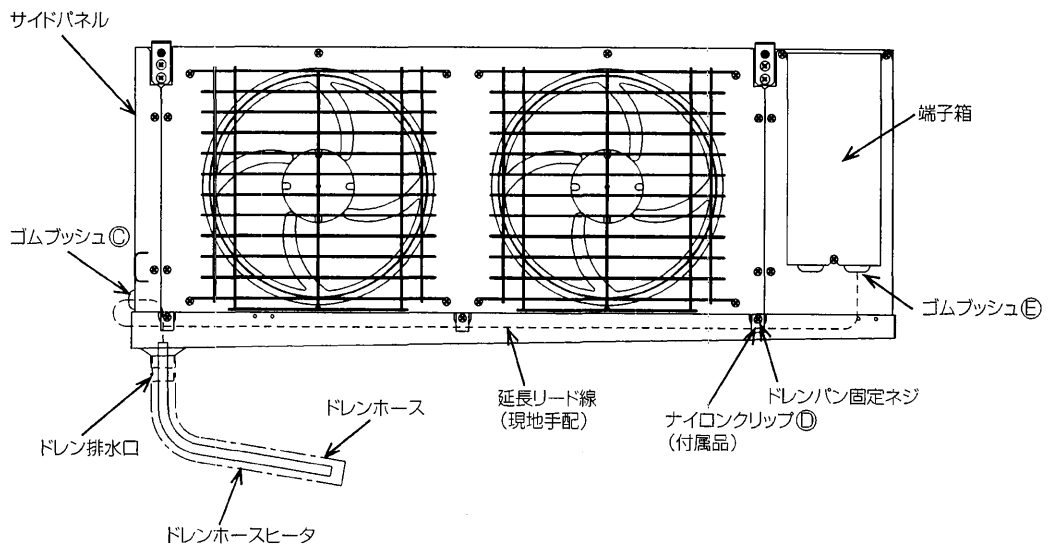
形 名	長さ	太さ
UCR-Z4・5VHE	1400	0.5以上
UCR-Z6・8・10VHE	1800	
UCR-Z15VHE1	2200	
UCR-Z20VHE	2600	



- ② ドレンホース内にドレンホースヒータを配置して、余ったリード線は図のようにサイドパネルのゴムブッシュ部（次項図中◎のゴムブッシュ）より外に取出します。
[このときドレンパンのヒータにドレンホースヒータやリード線が接触しないように注意してください。]
- ③ 取出したリード線は、ドレンパンの外周部にドレンパン固定ネジを利用して付属のナイロンクリップ（図中㊸）で固定し端子箱側まで配線します。
- ④ 端子箱下側のゴムブッシュ部（図中㊹）よりリード線をパネル内部に引込み端子台へ配線します。

注) ドレンホースヒータのリード線を外部に取出さず、ドレンパン内部を配線されると除霜用ヒータとドレンホースヒータ及びリード線が接触して焼損する等の危険性がありますので、必ず本要領書の通り施工してください。

ドレンホースヒータ配線詳細図

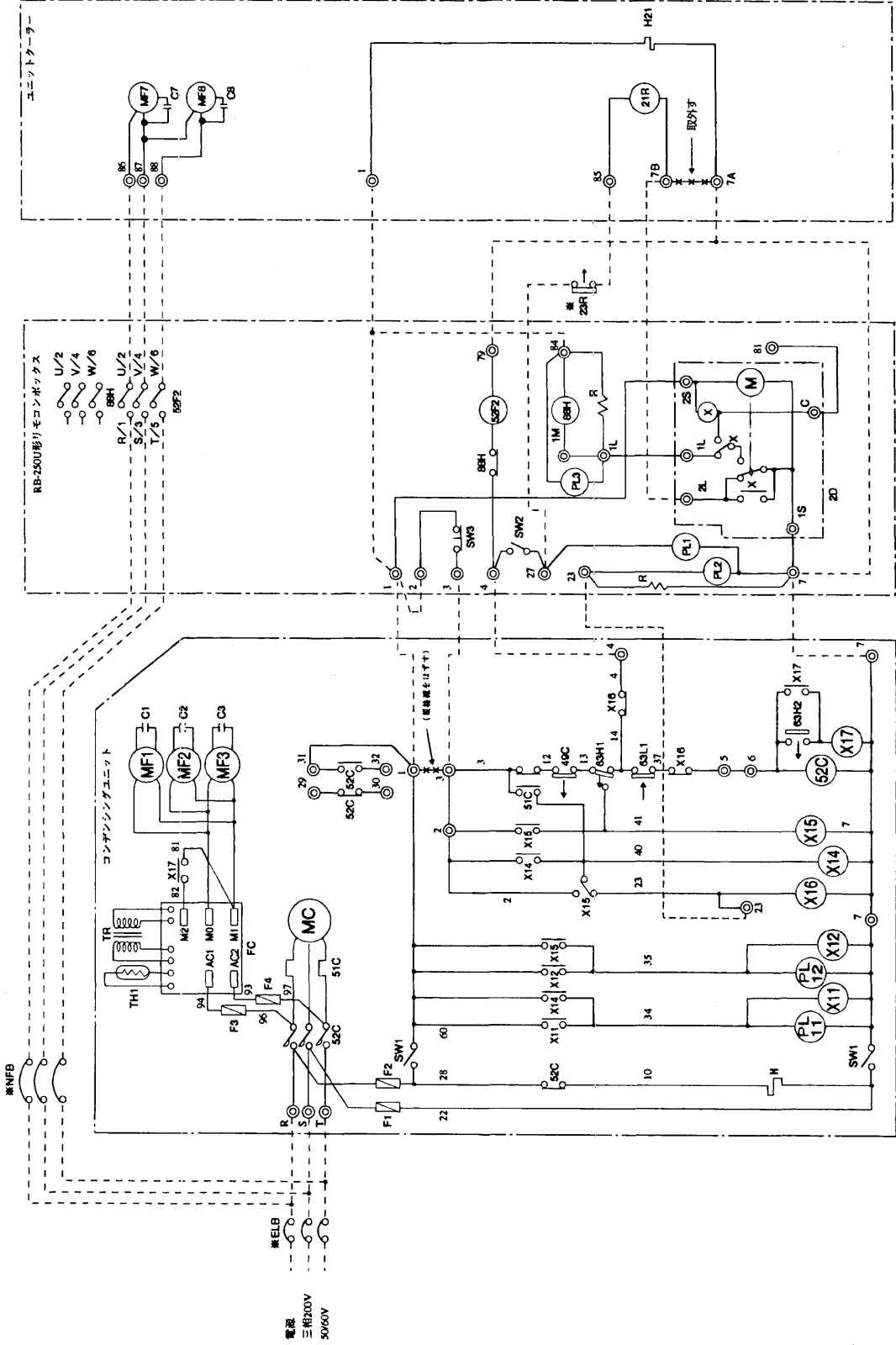


6.電気配線

(1) UCH-VNE形 別売部品RB-250U形リモコンボックス使用例

リモコンボックス：RB-250U

- 注1. *印の機器は現地手配となります。
 2.線は現地配線となります。
 3. 接点部の矢印は、圧力・温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。



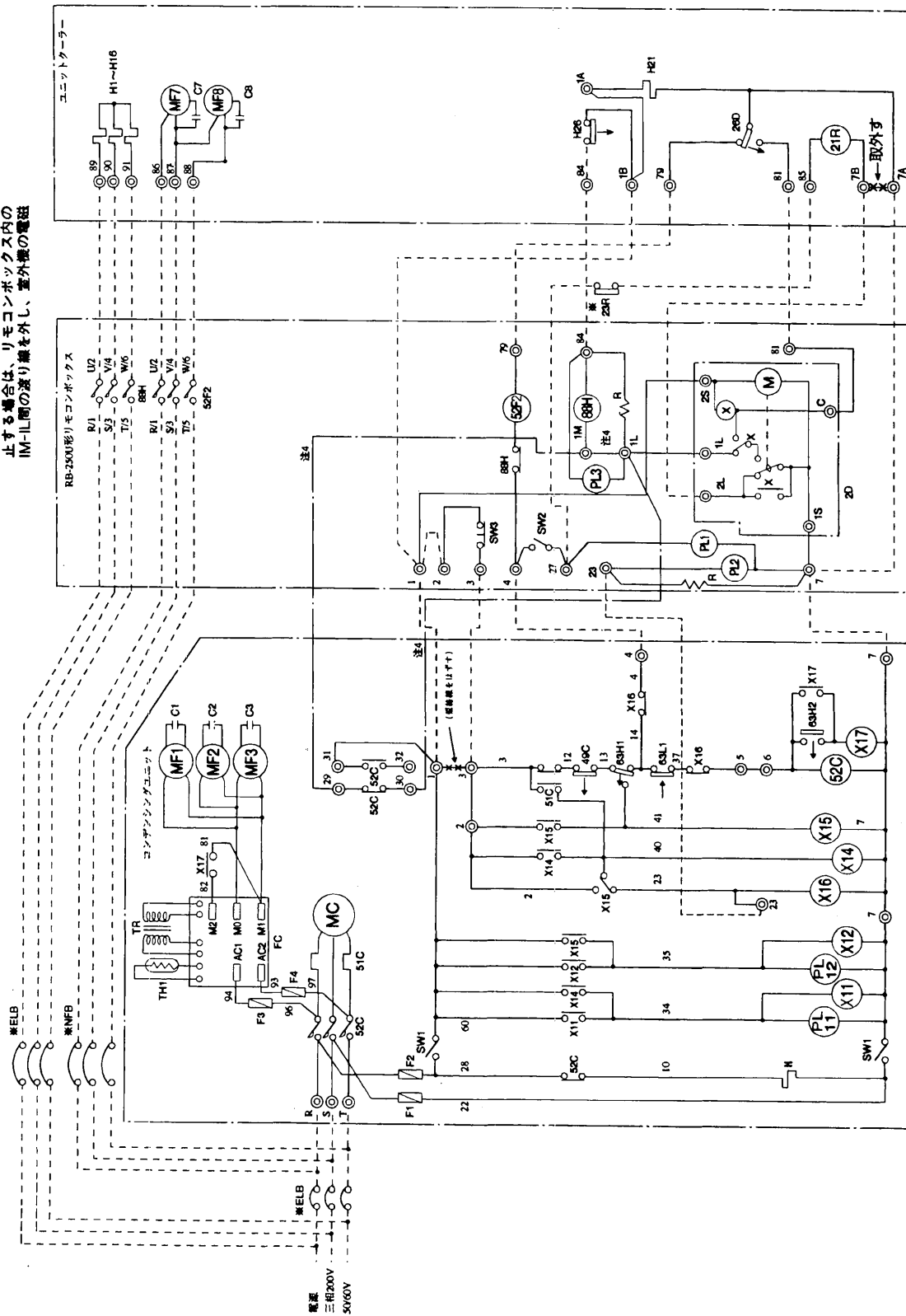
(2) UCL-VHE, UCR-ZVHE形

別売部品 RB-250U形リモコンボックス使用例

リモコンボックス：RB-250U

- 注 1. *印の線路は、現地手配となります。
 2.線は、現地配線となります。
 3. 接点部の矢印は、圧力温度が上昇または圧力差が増大した場合の接点の動作方向を示します。
 4. 圧縮機と除霜用電熱線の同時通電を防止する場合は、リモコンボックス内のIM-11間の差り線を外し、室外機の電磁

接触機 (52C) の接点を下記のように結線してください。

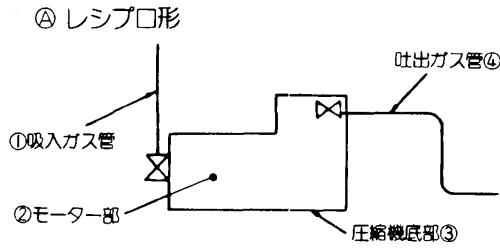


7. 試運転時のご注意

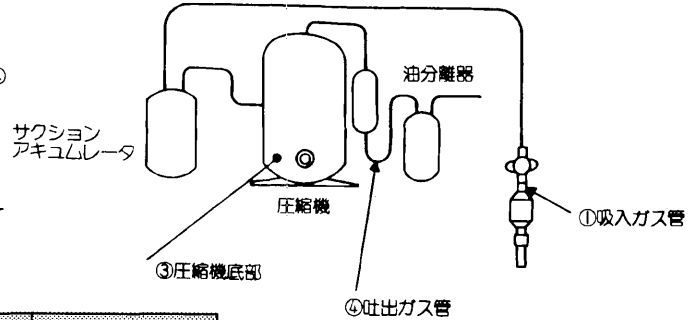
膨脹弁の調整

膨脹弁は製品出荷時調整済みですが、万一、圧縮機の吸入ガス管温度が下表の範囲を越えている場合は下記の要領で膨脹弁を調整してください。

〈各部温度の目安〉



㊸ スクロール形



機種	種	UCH-ZH	UCH・UCL	UCR-Z		
使用冷媒		R22	R22	R22		
庫内温度		20	0	-5	-20	-30
凝縮温度(℃)		52	47	47	47	47
蒸発温度(℃)		10	-10	-15	-30	-40
各部温度の目安	吸入ガス管(℃)	20~30	0~10	-5~5	0~10	-5~-15
	モータ部(℃)	-	30~40	30~40	-	-
	圧縮機底部(℃)	50~60	40~50	40~50	40~50	50~65
	吐出ガス管(℃)	100~110	100~115	100~115	100~125	100~130
圧縮機形式		㊸スクロール形	㊹レシプロ形	㊸スクロール形		

注1. 電源 三相200V50/60Hz

2. 外気温度20~35℃

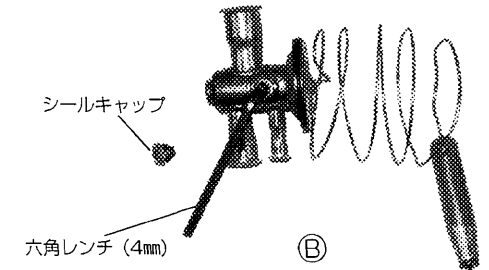
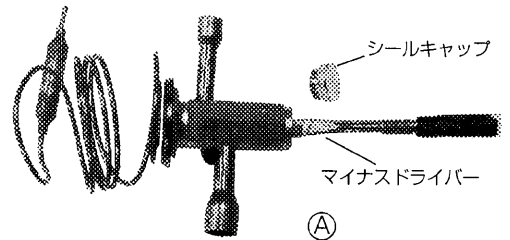
機種	工場出荷時の設定値 (静止スーパーヒート)K	調整スピンドル1回転当りの スーパーヒートの変化量Mpa	☒
UCH-3~8VNE UCL-3~8VHE	3	0.045	㊸
UCR-Z4~10VHE	2		
UCH-10・15VNE(1) UCL-10・15VHE(1) UCR-Z15・20VHE(1)	0.5	0.022	㊹

〈膨脹弁の調整の仕方〉

膨脹弁のスーパーヒートは上図で示すように調整スピンドルを時計方向(右回転)に廻すと…スーパーヒートは増加します。

反時計方向(左回転)に廻すと…スーパーヒートは減少します。

※スーパーヒートの調整後はシールキャップを確実に取り付けてください。(締め付トルクは㊸約14.7N・m㊹約4N・mです。)



注1. 膨脹弁の調整は、むやみに調整せず、時間をかけて安定させながら調整してください。

2. 適正な運転状態が得られない場合は、冷媒チャージ量及び、配管工事や感温筒の取付方法などが適正か見直してください。

8. お手入れのしかた

- 安全のため、お手入れの前に必ず電源スイッチを切ってください。
- 端子箱やファンモータには、絶対に水をかけないでください。故障(とくに漏電)の原因となります。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使わないでください。

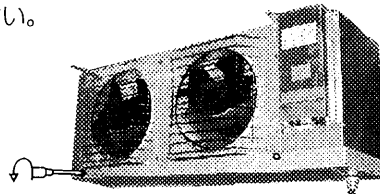
キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。



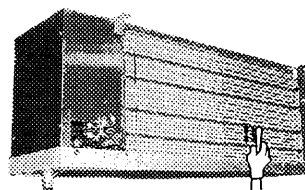
ドレンパン

- ドレンパンの開けかた——ドレンパン固定ネジを外してください。
- 清掃のしかた——布で内側のよごれを拭きとってください。



冷却器

- フィンを傷めないように目にそってハケ・ブラシなどで清掃してください。
- フィンで手を切らないように手袋をしてください。

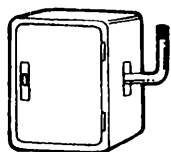


9. ようすがおかしいとき

- サービスをお申しつけの前につきのことをお調べください。
- それでも正しく運転しないときは工事店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス、当社営業所へご連絡ください。

電源のスイッチが切れている

完全に入っているか。
もう一度入れなおして
みてください。



ブレーカが切れている

完全に入っているか。
もう一度入れなおして
みてください。



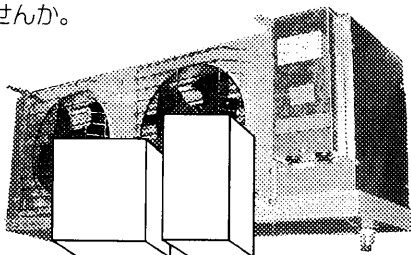
停電している

リモコンのスイッチを電源が復帰してから再び
入れてください。

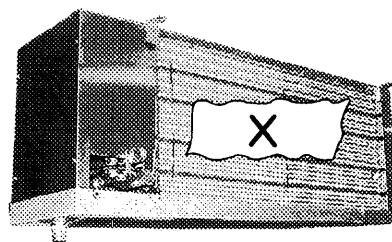
よく冷えない

風通しが悪くなっていませんか。

ユニットクーラーやコンデンシングユニット
の吸込口や吹出口が商品などでふさがって
いませんか。



吸込口にダンボール・ビニール等の ゴミが付着していませんか。



11ページのお手入れのしかたをお読みください。

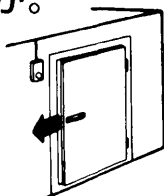
商品の温度が高すぎませんか。

お湯、お茶などが高温状態で入っていませんか。

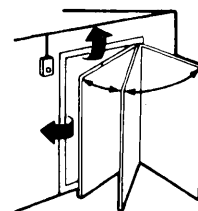
吸込口が霜で目詰まっていますか。

扉があいていませんか。

異物などがはさまって隙間があいていませんか。



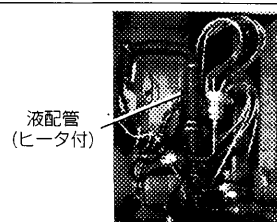
扉の開閉の回数が多くありませんか。



起動時に大きな音がする（冷媒衝撃音）

UCL-6～15
UCR-Z4～20タイプには起動時の冷媒衝撃音を押える為に液配管にヒーターを取付けています。

冷媒衝撃音が大きい場合、このヒーターが断線している可能性がありますので確認願います。



次の場合は故障ではありません

風が横に吹いている

ユニットクーラへの霜の付着量が増えてきますと、冷風が横に吹いたり、羽根の回転が目視で確認出来るようになります。これは霜付が多すぎる為に起りますので、除霜時間の間隔を見直してください。

音がする

- (1)冷却・除霜運転開始後と停止後に「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化でパネルなどが膨脹収縮してこすれる音ですので問題はありません。
- (2)吸込口を目詰り状態で使用されますとパネル等からビビリ音が出ることがあります。これは、目詰りにより送風機へ静圧がかかったことにより起りますので、除霜時間の間隔を見直してください。

10.保証条件・アフターサービス

1 無償保証期間および範囲

無償保証期間は、据付けた当日を含め向う1年間とします。無償保証範囲は、故障した当該部品または弊社が交換を認めた部品とします。ただし下記使用法による故障の発生については、保証期間中であっても部品は有償支給となります。

2 保証できない範囲

- 機種選定、冷凍装置設計に不具合がある場合。
本工事説明書で指定した以外の制御機器を使用したり、指示事項および注意事項を遵守せずに工事を行った場合。また冷却負荷に対し明らかに過大過小の能力を持つユニットクーラを選定し、それが起因となって故障に至ったと弊社が判断した場合。
- 弊社の製品仕様を無断で改造した場合、または弊社製品付属および指定の保護機器を使用せずに事故となった場合。
- 指定の使用庫内温度範囲を守らなかったことによる事故の場合、規定外の電圧を印加したことによる事故となった場合。
- 化学薬品、有害ガス等の特殊条件による腐食、ガス洩れ事故の場合。
- 天災、火災による事故の場合。
- 据付工事に不具合がある場合。
- その他、ユニットクーラの据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での故障は、保証できません。またいかなる場合でもユニットクーラの故障に起因した冷却物の補償、および営業補償等の2次補償はいっさいいたしませんので当社代理店等と相談の上、損害保険で対処してください。

■万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し運転スイッチを切り、お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス・当社営業所へご連絡ください。

●ご連絡の場合は、つぎの3点をハッキリお示ください。

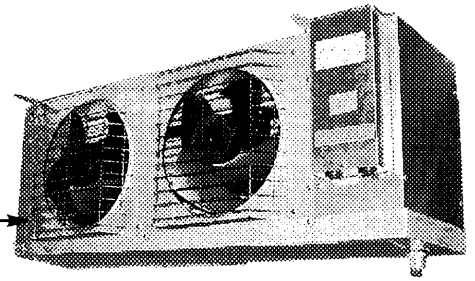
1.ユニットクーラ形名 (例: UCL-4VHE)

2.製造番号

3.故障内容 (できるだけくわしく)

定格名板に記載してあります。

定格名板



1.1.仕様

①UCH-VNE

項目 \ 形名		UCH-3VNE	UCH-4VNE	UCH-5VNE	UCH-6VNE	UCH-8VNE	UCH-10VNE1	UCH-15VNE
性能	冷却能力 (kW)	3.14/3.37	5.6/6.0	7.3/7.9	9.7/10.3	12.7/13.6	15.9/17.0	23.5/25.0
	条件 (TD10K)							
電源		三相 200V 50/60Hz						
送風機	運転電流 (A)	0.53/0.58	1.06/1.16		2.0/2.7		4.0/5.4	
	始動電流 (A)	1.1/1.2	2.2/2.4		4.2/6.0		8.4/12.0	
ヒーター電流 (A)		—						
風量 (m³/min)		32/36	54/62	59/67	118/132		150/168	211/235
外形寸法	高さ×幅×奥行 (mm)	469×1190×467		476×1590×467	680×1590×494		687×1990×494	694×2390×494
	製品質量 (kg)	25	34	41	50	61	83	105

②UCL-VHE

項目 \ 形名		UCL-3VHE	UCL-4VHE	UCL-5VHE	UCL-6VHE	UCL-8VHE	UCL-10VHE1	UCL-15VHE
性能	冷却能力 (kW)	3.14/3.37	5.6/6.0	7.3/7.9	9.7/10.3	12.7/13.6	15.9/17.0	23.5/25.0
	条件 (TD10K)							
電源		三相 200V 50/60Hz						
送風機	運転電流 (A)	0.53/0.58	1.06/1.16		2.0/2.7		4.0/5.4	
	始動電流 (A)	1.1/1.2	2.2/2.4		4.2/6.0		8.4/12.0	
ヒーター電流 (A)		6.1		7.8	11.9	15.6	18.5	22.5
風量 (m³/min)		32/36	54/62	59/67	118/132		150/168	211/235
外形寸法	高さ×幅×奥行 (mm)	469×1190×467		476×1590×467	680×1590×494		687×1990×494	694×2390×494
	製品質量 (kg)	26	35	43	53	65	87	110

③UCR-ZVHE

項目 \ 形名		UCR-Z4VHE	UCR-Z5VHE	UCR-Z6VHE	UCR-Z8VHE	UCR-Z10VHE	UCR-Z15VHE1	UCR-Z20VHE
性能	冷却能力 (kW)	3.4/3.6	4.1/4.4	5.9/6.4	7.2/7.8	10.2/10.9	12.0/12.8	16.4/17.4
	条件 (TD10K)							
電源		三相 200V 50/60Hz						
送風機	運転電流 (A)	0.53/0.58	1.06/1.16		2.0/2.7		4.0/5.4	
	始動電流 (A)	1.1/1.2	2.2/2.4		4.2/6.0		8.4/12.0	
ヒーター電流 (A)		12.1		15.8	19.6	26.9	31.7	
風量 (m³/min)		32/36	54/62	59/67	118/132		162/180	211/235
外形寸法	高さ×幅×奥行 (mm)	469×1190×467		476×1590×467	680×1590×494		687×1990×494	694×2390×494
	製品質量 (kg)	33	36	45	59	66	90	115

警報装置の設置について

冷凍装置には、安全確保のため、種々の保護装置が取付けられています。

万一、漏電ブレーカや保護回路が作動した場合に、警報システムが十分でないと、長時間にわたり冷凍機の運転が停止したままになり、貯蔵品の損傷につながります。

適切な処置がすぐできるよう、警報装置の設置や温度管理システムの確立を計画時点でご配慮くださるようお願いいたします。

■ご不明な点に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーダイヤル)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーダイヤル)・073(428)-2229(通常FAX)

